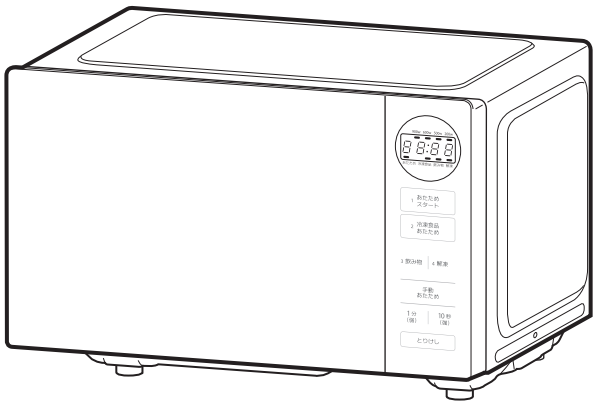
# 取扱説明書

AQUA

# 電子レンジ

家庭用（業務用としては使用しないでください）

# 品番 AQM-KF20B



もくじ


**安全上のご注意** ―― 2～6
使用上のお願い ―― 7
各部のなまえ ―― 8～9
使える容器、使えない容器 ―― 10
自動あたため ―― 11～12
冷凍食品あたため ―― 13
飲み物あたため ―― 14～15
自動解凍 ―― 16～17
手動あたため ―― 18～20
お手入れのしかた ―― 21
うまく仕上がらないとき ―― 22
故障かな？と思ったとき ―― 23～24
仕様 ―― 25
保証とアフターサービス ―― 25
お客さまご相談窓口 ―― 26
保証書 ―― 裏表紙


このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。**また本書は保証書も兼ねています。**必ず、お買い上げ日・お客様名・販売店名などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証書付（裏表紙）

日本国内専用
Use only in Japan

取扱説明書の記載内容は変更になる場合があります。最新版は製品本体右側面に貼り付けている二次元コードを読み取りご確認ください。

## ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

https://aqua-has.com/support/reg/

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

■表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | 「死亡、または重傷を負う可能性が高い内容」を示します。 |
| ⚠警告 | 「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。 |
| ⚠注意 | 「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。 |

■図記号の説明

| | |
|---|---|
| ⚠ | 「危険」「警告」「注意」を促すことを示しています。 |
| 🛇 🔧 ✋ | してはいけない「禁止」を示します。 |
| ❗ 🔌 ⏚ | しなければならないこと「指示」を示します。 |

## ご使用の前

### ⚠危険

分解禁止

**●自分で分解・改造・修理しない**

火災・感電・ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

禁 止

**●吸気口、排気口、製品の穴や隙間に針金や指などの異物を入れない**

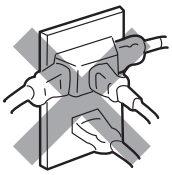
感電・ケガ・異常動作・故障のおそれがあります。異物が入ったときは、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

### ⚠警告

コンセントを単独で使用

**●電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使用する**

延長コードは使用しないでください。複数の電化製品を併用した分岐コンセントは使用しないでください。
（タコ足配線禁止）
電源コードやコンセントが異常発熱し発火や感電の原因になります。



**●電源プラグの刃や、刃の取付け面のほこりは確実に拭き取る**

ほこりが付着すると火災のおそれがあります。

ぬれ手禁止

**●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電するおそれがあります。

禁 止

**●電源コードを傷つけない**

加工したり、束ねて使用したりしないでください。重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張たり、ねじったり、挟み込んだりしないでください。電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

**●傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない**

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。感電・ショート・発火の原因となります。

プラグを持って抜く

**●長時間使わない時は、電源プラグを抜く**

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

**●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグをもって抜く**

感電・断線して発火するおそれがあります。

# ⚠警告

包装材を取り除く

**●使用前に、付属品の梱包材はすべて取り除く**

取り除かないと運転中に梱包材が発火し、火災・やけどのおそれがあります。

**●包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない所に保管または廃棄する**

頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因となります。

禁 止

**●燃えやすいものや熱に弱いものを近づけない**

レンジ本体をたたみ・じゅうたん・テーブルクロス・プラスチックなどの上に置かないでください。また、カーテンやスプレー缶などを近づけないでください。

**●火気の近くや水のかかる場所では使わない**

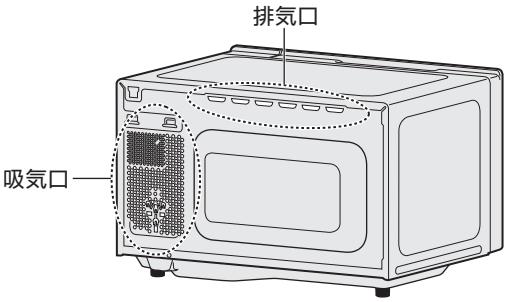
感電・漏電・故障の原因になります。

**●レンジ本体の上にものを置いたり、布などをかぶせたりしない**

置いたものが過熱し、焦げ・発煙・発火するおそれがあります。

**●吸気口・排気口はふさがない**

火災の原因になります。



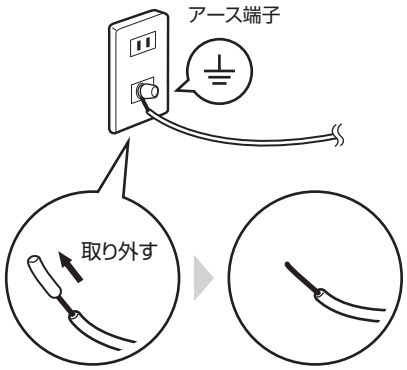

ゴミ、ほこりなどで吸気口・排気口がふさがれないようこまめにお手入れしてください。また、電源コードが吸気口・排気口に重ならないようにしてください。

アースを接続する

**●アースを確実に取り付ける**

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

- **アース端子付きコンセントを使うとき**
  アース線がレンジ本体後面のアース端子（ネジ）に確実に取り付けられていることを確認してから、アース線先端部分の被覆を取り外し、芯線をアース端子に固定する。アース線の先端がコンセントに触れないように注意する。




- **アース端子付きコンセントがないとき**
  販売店または電気工事店にご相談ください。（本体価格に工事費はふくまれていません。）

- **法律により以下の場所は「電気工事士」の有資格者によるD種接地工事が必要な据え付け場所となります**
  ＜湿気の多い場所＞
  土間、コンクリート床、酒やしょうゆなどの醸造・貯蓄場所など
  ＜水気のある場所＞
  洗い場などの水気のある場所、水を使う土間、結露がおきやすいところ
  （漏電遮断器の設置も法律で義務付けられています）
- **アース線を接続できないもの**
  ガス管、水道管、電話線のアース、避雷針

※アース線が外れたり、ゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。

# ⚠注意

禁 止

**●直射日光の当たるところは避ける**

ドア部や操作部の変色・硬化・縮み・しわ・ひび割れの原因になります。

必ず実施

**●レンジ本体の設置場所は、テレビ・ラジオ・無線機器（無線LANなど）やアンテナ線などからは4m以上離す**

雑音や映像の乱れ、通信エラーの原因になります。

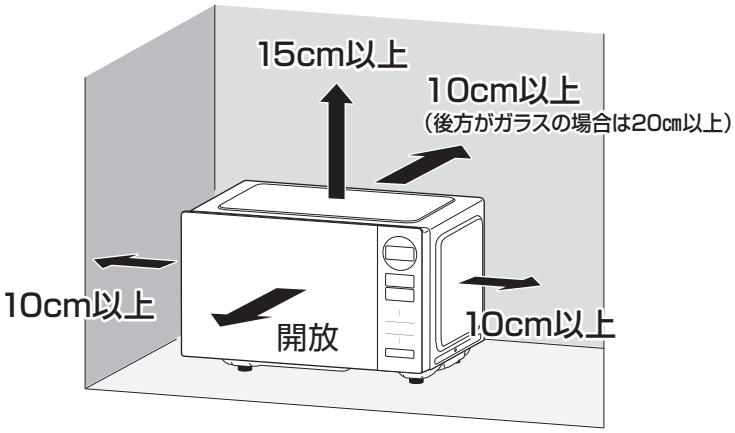
必ず実施

**●本体上面、壁との間は下表以上の距離を確保する**

過熱による壁などの焦げや変形、発火などの原因になります。

- 本体の上に物を置かない。
- 熱に弱いものやカーテンのそばに置かない。

- **左右：10cm以上**
  ※ 正面と左右どちらかを開放して設置してください。
- **後方がガラスの場合、温度差で割れるおそれがあるので20cm以上あけてください。**
  ※ あけても温度差によって割れることがあります。




## 使用するとき

# ⚠警告

異常時は使用を中止する

**●異常・故障時には、ただちに使用を中止する**

すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 本体にさわると電気を感じる。
- ドアや庫内に著しい変形がある。
- 自動的に切れないときがある。
- 異常なにおいがしたり煙が出る。
- スタートしても食品が加熱されない。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- その他の異常、故障がある。

禁 止

**●子供だけで使わせない**
**幼児の手の届くところでは使わない**

やけど・感電・ケガの原因になります。

**●殺菌・消毒や衣類の乾燥など調理以外の目的で使用しない**

過熱や異常動作による発火・やけどのおそれがあります。

**●加熱中に電源プラグを抜き差ししない**

感電・発火のおそれがあります。

**●製品まわりを密閉した状態にしたり、吸気口・排気口をふさいだりしない**

過熱して発火するおそれがあります。

# ⚠注意

禁 止

● **不安定な場所に置かない**
落ちたり倒れたりして、ケガの原因になります。
※もし地震などで転倒・落下した場合は、そのまま使用せず、必ずお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

● **家庭用以外では使用しない（店舗などの長時間使用や不特定多数の人の使用など）**
故障や発煙・発火などの不具合の原因となります。

● **ドアに乗ったり、ぶら下がったり、無理な力を加えたりしない**
レンジ本体が倒れたり落下したり電波もれによる傷害、やけどの原因になります。

● **ドアを開けるときは、のぞき込まない**
熱気や水蒸気などで、やけどの原因になります。

● **ドアにものをはさんだまま加熱しない**
電波もれによる障害のおそれがあります。

● **食品や食材を庫内に置くときは、ドアや庫内壁面に食品や食材が触れないように置く**

● **テーブルプレート、ドアはガラス製です。熱いときに水をかけると割れる場合がありますので、水をかけないようご注意ください。**

禁 止

● **庫内の食品が燃えだしたときはドアを開けない**
ドアを開けると空気が入り、勢いよく燃え出し、火災の原因になります。
**まず、「とりけし」キーを押し、運転を止めてから電源プラグを抜きます。レンジ本体から燃えやすいものを遠ざけ火が消えるのを待ってください。**
※火が消えないときは消火器で消してください。
※そのまま使用せず、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

● **使用するキーを間違えない**
仕上がりが悪くなる原因になります。加熱しすぎて焦げ・発火・火災の原因になります。飲み物を温め過ぎると、庫内から取り出した後に突然沸騰し、やけどのおそれがあります（突沸現象）

● **調理の目的以外に使用しない**
やけど・ケガ・発火のおそれがあります。

● **食品容器の出し入れは引きずらない**
テーブルプレート（ガラス製）に傷が付くと、破損・火花・故障の原因になります。

注 意

● **ドア開閉時には指の挟み込みに注意**
やけど・ケガの原因になります。

## レンジ加熱のとき

# ⚠警告

守ること

● **缶詰、ビン詰、袋詰、レトルト食品、真空パック入り食品は皿などに移し替える**
発火・破裂・ケガ・やけどのおそれがあります。

● **殻や膜のある食品は殻を取るか切れ目を入れる**
栗・ぎんなん・ソーセージなどは破裂し、やけどやケガをするおそれがあります。

● **ビンなど、密閉性の高い容器のふたや栓ははずす**
容器が破裂し、やけどやケガのおそれがあります。

禁 止

● **食品や飲み物などを加熱しすぎない**
発煙・発火・突沸の原因になります。
食　品：とくに天ぷらなどの揚げもの
飲み物：牛乳・コーヒー・生クリーム・油脂分の多い液体やお酒など
加熱中や、加熱後食品を取り出すときにテーブルに置いたり異物が入るなどの衝撃を受けると突然飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。
※加熱しすぎたときは、少し時間をおいてから庫内から取り出してください。
※少量の食品は自動で加熱せず、手動で様子を見ながら加熱してください。

# ⚠注意

禁 止

● **庫内が空のまま加熱しない**

故障・発煙の原因になります。

- 本体や庫内が異常に加熱され、高温になり、やけどの原因になります。
- また長時間加熱や、少量の食品加熱後も庫内が熱くなり、やけどの原因になりますので終了直後は庫内に触れないでください。

● **金属製の容器や金串は使用しない**

庫内壁面やドアガラスなどに触れると、火花が出てドアガラスが割れるおそれがあります。アルミで加工した紙箱やパック、テープなども使用しないでください。金銀模様のある容器も使用しないでください。

● **脱酸素剤や乾燥剤を入れたまま加熱しない**

燃えるおそれがあります。

守ること

● **ラップをはずすときは、蒸気の熱に注意する**

蒸気が一気に出て、やけどのおそれがあります。

● **ベビーフードや介護食をあたためるときは、加熱後にかき混ぜてから温度を確認する**

やけどのおそれがあります。

● **卵は割りほぐしてから加熱する**

破裂しやけどやケガをするおそれがあります。ゆで卵を作ったり、温めたりしないでください。ゆで卵を使ったソース・フライ類・目玉焼き・魚の白子なども加熱しないでください。

● **イカなど膜がある食品やえび・栗などの殻付きの食品には切れ目や割れ目を入れる**

破裂するおそれがあります。

## お手入れのとき

# ⚠警告

プラグを抜く

● **お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜く**

感電やケガのおそれがあります。

冷めてから

● **お手入れは、レンジ本体が冷めてから行う**

やけどのおそれがあります。

ぬれ手禁止

● **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電するおそれがあります。

禁 止

● **庫内やドアに付着した油や食品カス、水分をのこしたまま加熱しない**

電波が汚れた部分に集中して、火花の発生・発煙・発火・庫内損傷などのおそれがあります。付着した場合は、本体が冷めてから必ず引き取ってください。

# 使用上のお願い

## 調理加熱全般について

- **本書に記載している材料・分量・調理方法で加熱する（20ページ参照）**
  記載している内容と違う材料・分量・方法で調理すると、仕上りが悪くなる原因になります。指定分量以外の場合や市販の料理本などの調理は、様子を見ながら加熱してください。
- **食品や調味料などを庫内に入れたままにしない**
  間違って運転した際、発火・火災のおそれがあります。
- **食品カスや油などが付いたまま加熱しない**
  バターやチーズなどの油分の多い食品が庫内に付着したまま使用すると発煙や発火の原因になります。
- **食品を入れ、ドアを閉めて1分以内にキーを押す**
  ドアを閉めて1分以上経過した場合、自動的に消灯します。
- **ミックスベジタブルや小さく切った根菜類(さつまいも、にんじんなど)は、少量での加熱はしない**
  火花が出て焦げたり、発煙・発火の原因になります。
- **少量の食品（目安100g未満）や小さい食品を加熱するときは、手動調理で加熱時間を20～30秒に設定し、様子を見ながら加熱する**
- **熱や蒸気から離す**
  炊飯器、ポットなどの蒸気が、本体や操作部にかからないようにしてください。故障する事があります。蒸気がかからない位置でご使用ください。
- **庫内底面は急冷や衝撃を与えたり、それらを繰り返すとヒビや割れのおそれがあります。**
  衝撃を与えたり、高温時に冷凍食品を直接置いたり、水をこぼしたりしないでください。

## 野菜のゆでかたについて

- 洗ったあとの水気はそのままでラップをしてください。
- ラップが重なり合う部分を下にして庫内中央に置き、加熱します。

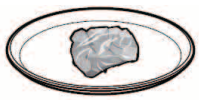
### 根 菜

- 加熱後、庫内から取り出し、ラップをしたまま約5分蒸らしてください。

じゃがいも（まるごと加熱）

- 洗って、皮つきのままラップに包んでください。
- 2個以上を一緒に加熱するときは、なるべく同じ大きさのものを選んでください。

じゃがいも（切って加熱）



- 皮をむき大きさをそろえて切ってラップに包んでください。

### 葉 菜

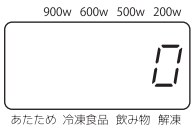
ほうれん草

- 葉と茎を交互に重ねてラップに包んでください。
- 太い茎には十文字に包丁を入れてください。
- アクのある野菜は、加熱後すぐに流水にさらしてアク抜きをし、冷水に取って色止めをします。

**「自動あたため」は使用せず、「手動あたため」で様子をみながら加熱してください。**

## 待機時消費電力オフ機能について

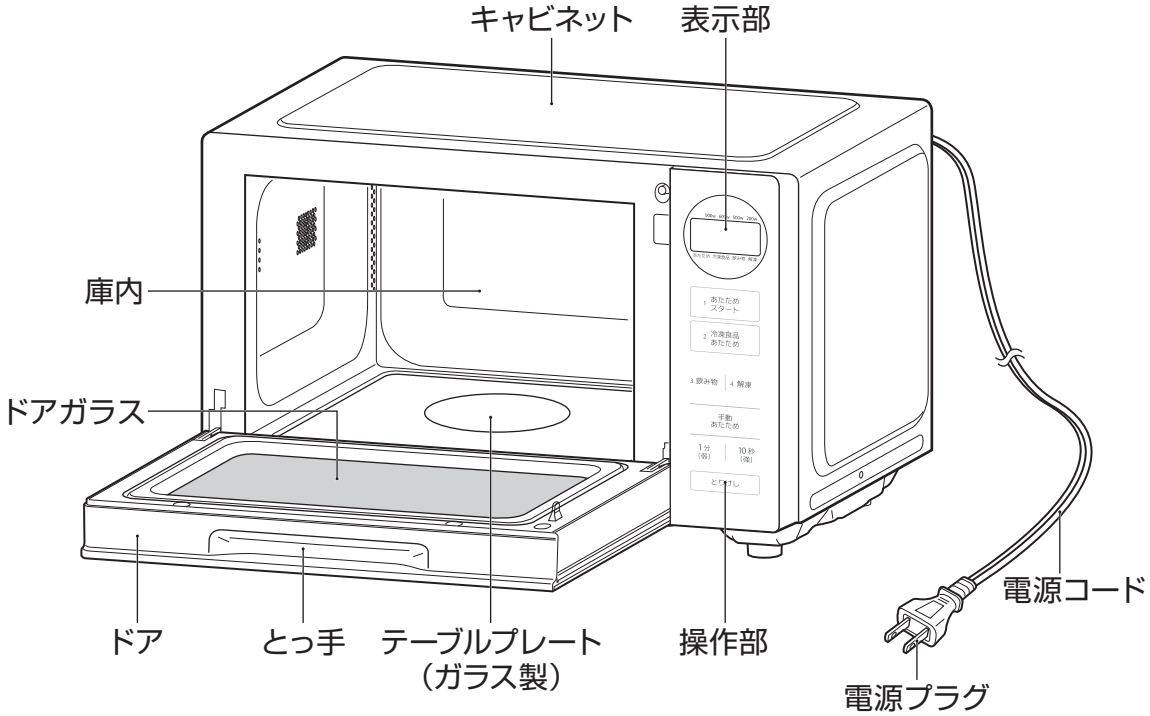
待機画面（初期画面）



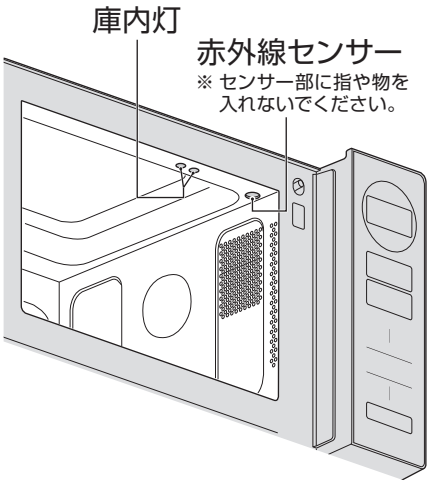

- 待機中の消費電力を節約するために自動で電源をオフする機能があります。そのため、電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入らないようになっています。ドアを開けることで電源が入り、表示部に「0」と表示されます（初期表示画面）。そのまま約1分放置すると表示が消えます。また表示が消えたあと、約4分で電源オフ状態になります。
- ワット数などの設定の途中で約10分放置すると初期表示画面に戻ります。
- 表示が消えた状態でドアを開けても開音ブザー（ピッ）は鳴りませんが異常ではありません。
  ※電源オフ状態でドアを開けると開音ブザー（ピッ）は鳴ります。

# 各部のなまえ

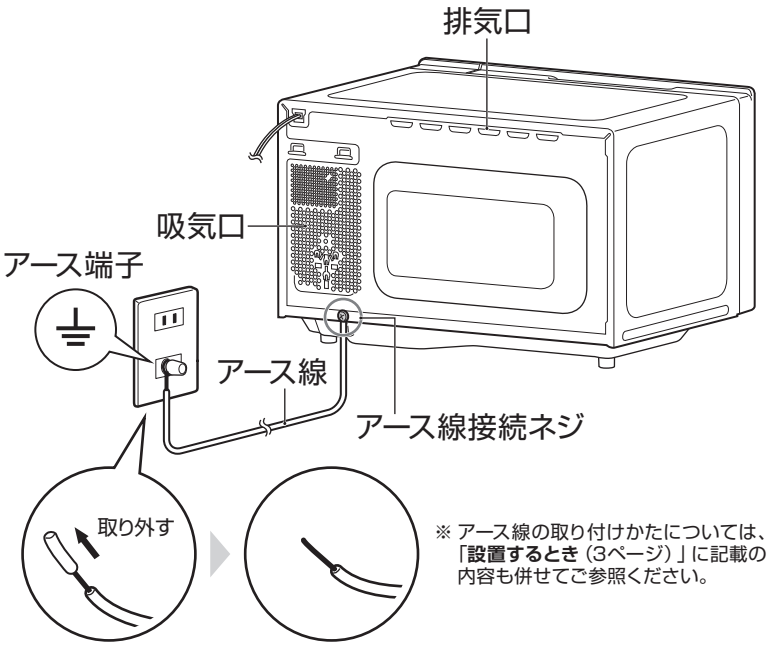
## 本体




## 庫内



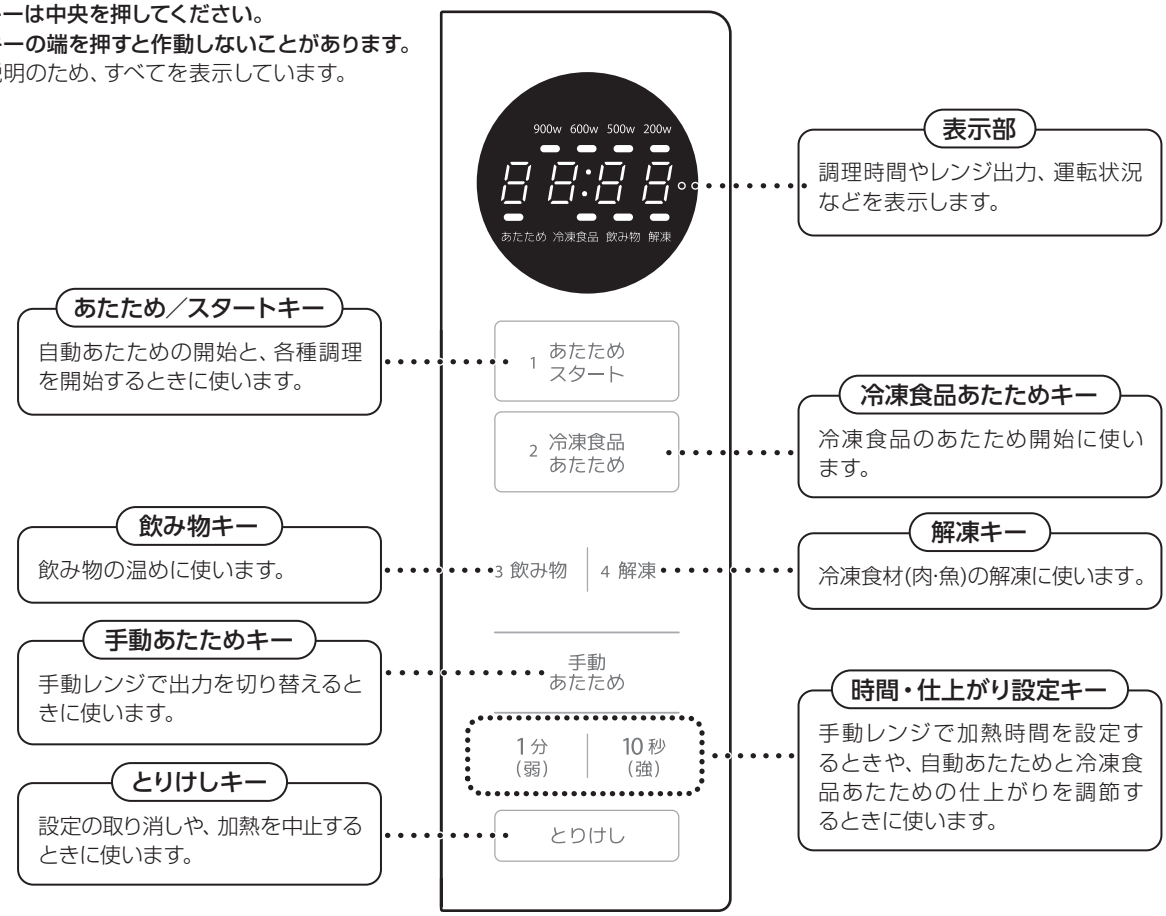

## 本体背面




※ アース線の取り付けかたについては、「**設置するとき**（3ページ）」に記載の内容も併せてご参照ください。

## 操作部

**※キーは中央を押してください。**
**キーの端を押すと作動しないことがあります。**
※説明のため、すべてを表示しています。



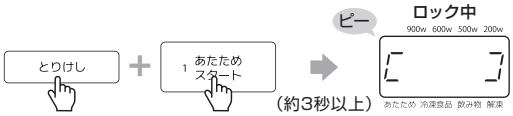

### チャイルドロックついて

**※電源オンの状態で操作してください。**

● **ロック中は全ての操作を受け付けません。**
- 電源が切れてもロックは解除されません。

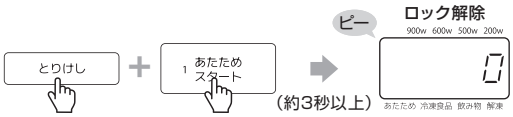
#### ロックをかけたい場合

表示部に「**0**」が表示された状態で「**とりけし**」キーと「**あたためスタート**」キーを同時に約3秒以上押します。ブザーが鳴りロック中画面を表示します。




#### ロックを解除したい場合

同様の操作でブザーが鳴り、画面に「**0**」を表示しロック機能が解除されます。




### 消音モードついて

**※電源オンの状態で操作してください。**

● **操作音と終了音を消すことができます。**
(終了音には、調理完了のブザー音も含まれます)
- 電源が切れても消音モードは継続されます。

#### ブザー音を消したい場合

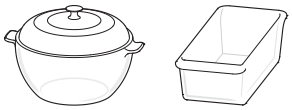
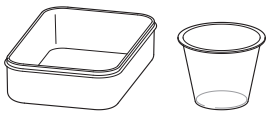
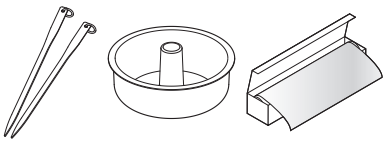
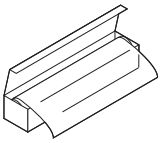
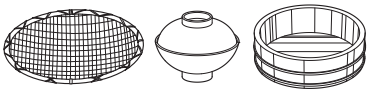
表示部に「**0**」が表示された状態で「**とりけし**」キーを約5秒以上押すと、画面に「**OFF**」を表示し、音が鳴らなくなります。

#### ブザー音を鳴らしたい場合

同様の操作で画面に「**On**」を表示し、ブザー音が鳴り、消音モード解除となります。

# 使える容器・使えない容器

使えない容器にご注意ください。
●プラスチック類は家庭用品品質表示法に基づく耐熱温度表示をご覧ください。
●材質や耐熱温度がわからない容器を使わないでください。

| 使える容器 | 使えない容器 |
|---|---|
| 耐熱性ガラス容器<br>• ただし、急に冷やすと割れることがあります。<br>  | 耐熱性のないガラス容器<br>•カットガラスや強化ガラスも使えません。<br> |
| 陶器・磁器<br>• ただし、色絵付け・ひび模様・金銀模様のあるものは器を傷めたり、火花が出るので使えません。<br>• 素焼きの陶器などの吸水性の高いものは、熱くなることがあるので注意してください。<br> | 熱に弱いプラスチック容器<br>• 耐熱温度が140℃未満のものや電波で変質するもの（ポリエチレン・スチロール・メラミン・フェノール・ユリア樹脂など）は、変形したり、燃えたりすることがあるので使えません。<br> |
| 耐熱性プラスチック容器<br>• 耐熱温度が140℃以上のもので「電子レンジ使用可」の表示のあるものは使えます。<br>• 熱に弱いふたや、密閉性の高いふたは、はずしてください。<br>• 時間をかけすぎると、変形したり、燃えたりすることがあります。<br>• ただし、砂糖やバター、油を使った料理など高温になる食品には使えません。<br>  | 金属容器・金串・アルミホイル<br>• 電波を反射するので使えません。ただし、アルミホイルは電波を反射する性質を利用し、加熱しすぎる部分をおおうなど部分的に使えます。このとき庫内壁面に触れると、火花が出て破損や故障のおそれがあるので注意してください。<br>  |
| ラップ類<br>• 耐熱温度が140℃以上のものは使えます。<br>• 砂糖・バター・油を使った料理など高温になる食品には使えません。<br>  | 木・竹・紙製品・漆器など<br>• 焦げたり、燃えたり、火花が出ることがあります。<br>• 塗りがはげたり、ひび割れ、変色のおそれがあります。<br>• 特に針金やホッチキスを使っているものは、そこに電波が集中して燃えやすくなります。<br>  |

## 赤外線センサーとは

食品が放射する赤外線量を測定して、食品の表面温度を検知するセンサーです。
食品の表面温度を検知しながら加熱するため、食品の初期温度、容器の重さなどの影響を受けず、最適な温度に食品を加熱することができます。

## 自動あたため・冷凍食品あたため・飲み物あたため・自動解凍について

### ⚠注意

禁止

● **少量(目安100g未満)の食品は加熱しない**
食品の温度が正しく検知できず過加熱となり、食品が発火する原因になります。手動で様子を見ながら加熱してください。

● **粒入りスープはあたためない**
コーンの粒やあさりなどが入ったスープをあたためると具が飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。ラップをして手動のレンジ600Wで様子を見ながら加熱してください。

禁止

● **ふた、ふた付きの容器は使用しない**
容器にふたをして加熱すると、赤外線センサーが正しく検知できず、食品の発火や容器が割れる原因になります。

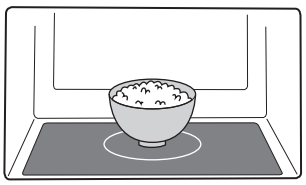
あたため注意

● **液状のもの、とろみのあるものは加熱後の取扱に注意する**
カレー、シチュー、煮物などは加熱中や加熱後の突然沸とう(突沸)して飛び散ることがあるので、加熱前、加熱後にかき混ぜて、取り出す際にはやけどに注意してください。

# 自動あたため

## 1 食品を庫内に入れる

- 容器を使う場合は食品の分量に合う大きさの容器を使用してください。
- 庫内の中央（マーク）に置いてください。


中央に置く

## 2 「あたためスタート」キーを押す

- 表示部にメニュー番号「**1**」が点滅表示され加熱を開始します。

※ドアを閉めて1分以内に押してください。

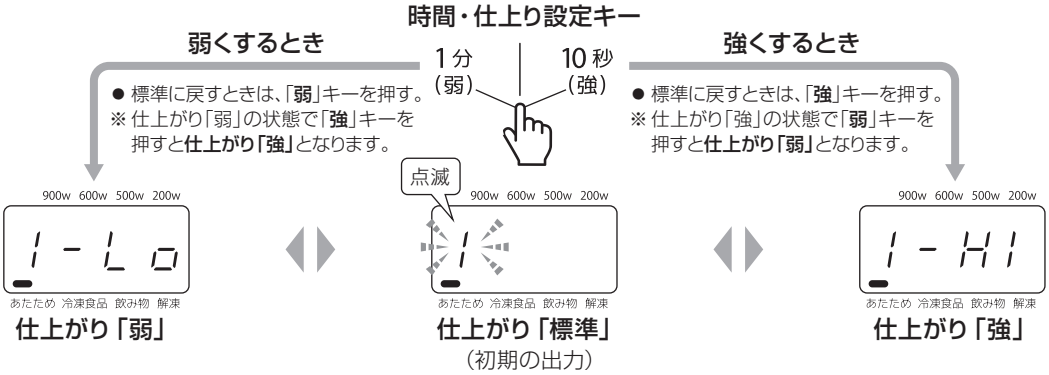
- 仕上がりの強さを調節するときは、加熱開始から10秒以内に調節してください。
  ➡「**仕上がりを調節する場合**（12ページ）」参照)
- 加熱時間が残り20秒になると、表示部がカウントダウン表示に切り替わります。

**お知らせ**
- ドアを開けて加熱中断しても点滅表示は継続します。

# 自動あたため(つづき)

## 仕上りを調節する場合

• スタート後10秒以内に「**時間・仕上り設定**」キーの「**(弱)**」または「**(強)**」を押してください。




## 3 調理終了

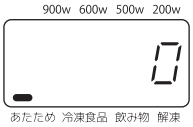
• 調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。
• 庫内に取り忘れがあるとブザーが1分おきに3回鳴ります。
※容器が熱くなってますので取り出しにはご注意ください。

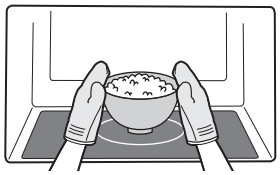
**ご注意**

• 加熱完了後、部品を冷却するためファンが動作することがあります。ファン動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファン動作中でも続けて加熱可能です。

冷却中の表示

調理終了





ミトンなどを使って取り出す

## 自動あたためのときのポイント

● **ごはん類**
• かたまりはほぐし、固めのものは水を振りかけて加熱してください。
• 冷凍ごはんはサイズや厚みにより上手に温めできない場合があります。うまくいかない場合は手動レンジで様子を見ながら加熱してください。

● **おかず**
加熱後によくかき混ぜてください。また、生卵やゆで卵(殻付き、殻なし)、目玉焼きは破裂のおそれがあるので加熱しないでください。

● **コンビニ弁当**
包装しているラップやふたは必ず外して加熱してください。

● **めん類(パスタ・焼きそばなど)**
加熱後によくかき混ぜてください。

食材によっては「自動あたため」で上手に加熱できない場合があります。手動あたためで様子を見ながら加熱してください。(同梱の「**電子レンジを正しくお使いいただくためのお願い**」をご参照ください)

**ご注意**

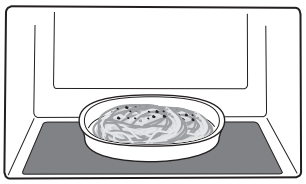
• **飲み物は「自動あたため」で加熱しないでください。**
過加熱となり、加熱中や取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因になります。
※ 牛乳・お酒・コーヒー・紅茶などの飲み物は「飲み物あたため」をご使用いただくか「手動あたため」で様子を見ながら加熱してください。
• **冷凍野菜(ほうれん草、ブロッコリーなど事前に茹でたものを冷凍した食材)は「自動あたため」で加熱しないでください。**
過加熱となり上手に加熱できない場合があります。手動レンジで様子を見ながら加熱してください。

# 冷凍食品あたため

## 1 食品を庫内に入れる

- 庫内の中央（マーク）に置いてください。

※あたためは自動で行いますが、あたため前準備（フタを外す、ラップを外すなど）はパッケージの指示に従ってください。



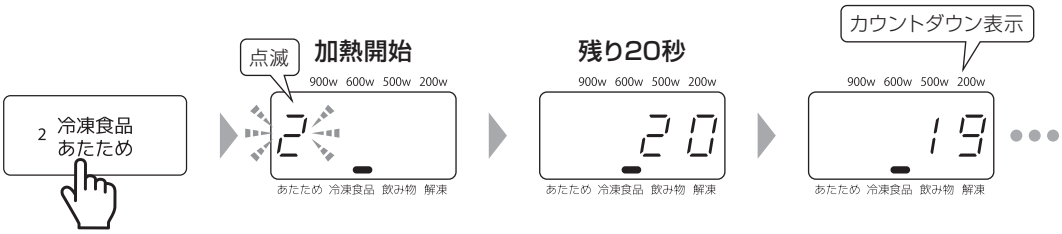
中央に置く

## 2 「冷凍食品あたため」キーを押す

- 表示部にメニュー番号「**2**」が点滅表示され加熱を開始します。

※ドアを閉めて1分以内に押してください。

- 仕上がりの強さを調節するときは、加熱開始から10秒以内に調節してください。
  ➡「**仕上がりを調節する場合**（12ページ）」参照）
- 加熱時間が残り20秒になると、表示部がカウントダウン表示に切り替わります。




## 3 調理終了

- 調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。
- 庫内に取り忘れがあるとブザーが1分おきに3回鳴ります。

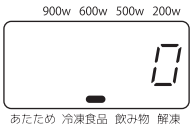
※容器が熱くなってますので取り出しにはご注意ください。

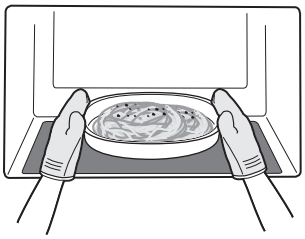
**ご注意**

- 加熱完了後、部品を冷却するためファンが動作することがあります。ファン動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファン動作中でも続けて加熱可能です。

冷却中の表示

**調理終了**



ミトンなどを使って取り出す

### 冷凍食品あたためするときのポイント

● **冷凍食品の種類によっては、加熱完了後はよくかき混ぜてください。**

冷凍食品の種類によっては「冷凍食品あたため」で上手に加熱できない場合があります。手動あたためで様子を見ながら加熱してください。（同梱の「**電子レンジを正しくお使いいただくためのお願い**」をご参照ください）

# 飲み物あたため

## ⚠警告

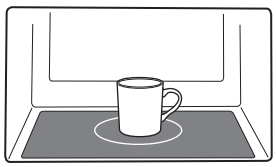
● 取り出し時に突然の沸騰によるやけどのおそれがあります。注意して取り出してください。

## ⚠注意

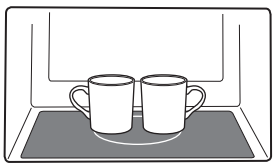
● 加熱後、容器が熱くなっています。取り出しには十分注意してください。

## 1 食品を庫内に入れる

- 耐熱性の容器をご使用ください。
- 庫内の中央（マーク）に置いてください。



1カップの場合



2カップの場合

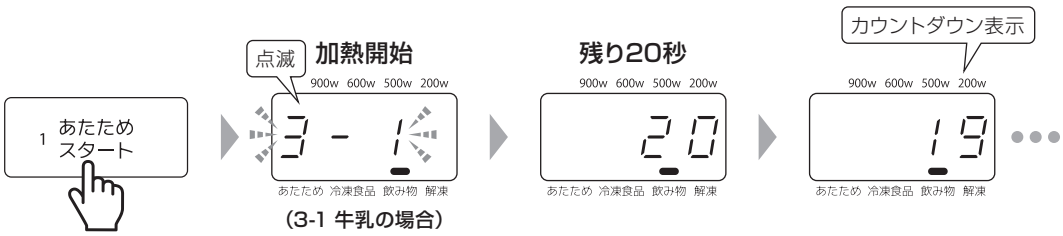
## 2 「飲み物」キーを押し、メニューを選択する

- 表示部にメニュー番号「**3-1**」が表示され、押すたびに飲み物メニューが下記のように切り替わります。

※ドアを閉めて1分以内に押してください。

## 3 「あたためスタート」キーを押す

- 表示部のメニュー番号が点滅表示に切り替わり、加熱が開始されます。
- 加熱時間が残り20秒になるとカウントダウン表示に切り替わります。



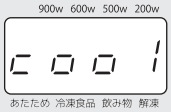

## 4 調理終了

- 調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。
- 庫内に取り忘れがあるとブザーが1分おきに3回鳴ります。

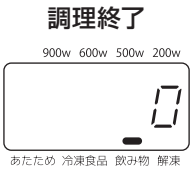
※容器が熱くなってますので取り出しにはご注意ください。

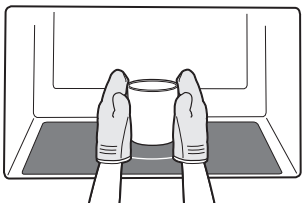
**ご注意**

- 加熱完了後、部品を冷却するためファンが動作することがあります。ファン動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファン動作中でも続けて加熱可能です。




冷却中の表示



ミトンなどを使って取り出す

### 飲み物あたためするときのポイント

- **広口で低めの容器をご使用ください。**
- **加熱完了後はかならずかき混ぜてください。**

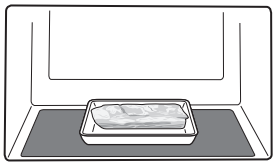
飲み物の種類、容器の種類によっては「飲み物あたため」で上手に加熱できない場合があります。手動あたためで様子を見ながら加熱してください。（同梱の「**電子レンジを正しくお使いいただくためのお願い**」をご参照ください）

# 自動解凍

## 1 食品を庫内に入れる

- 食品の分量に合う大きさの容器を使用してください。
- 購入時のトレイのまま庫内の中央（マーク）に置いてください。
- ラップやふたはしないでください。

※お皿など別の容器で加熱すると上手に解凍できない場合があります。

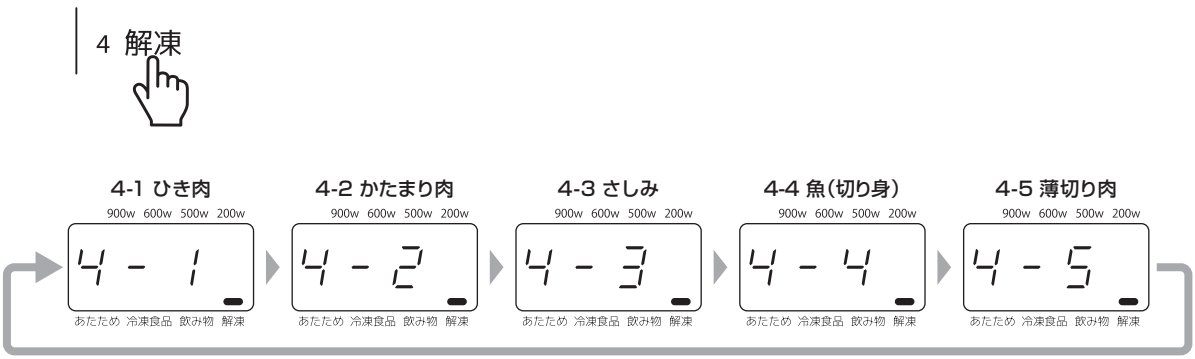


中央に置く

## 2 「解凍」キーを押し、メニューを選択する

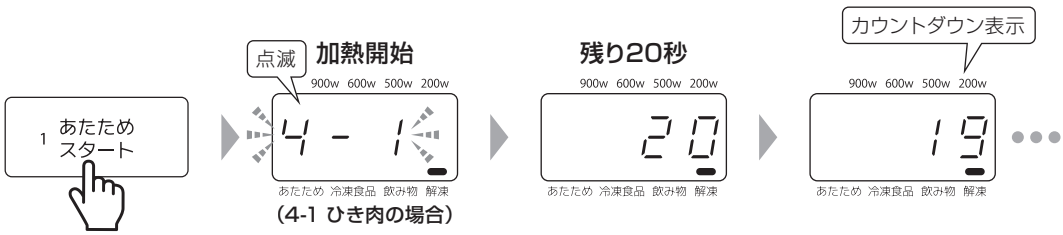
- 表示部にメニュー番号「**4-1**」が表示され、押すたびに解凍メニューが下記のように切り替わります。

※ドアを閉めて1分以内に押してください。




## 3 「あたためスタート」キーを押す

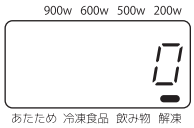
- 表示部のメニュー番号が点滅表示に切り替わり、加熱が開始されます。
- 加熱時間が残り20秒になるとカウントダウン表示に切り替わります。



## 4 調理終了

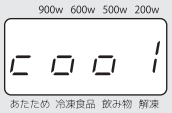
- 調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。
- 庫内に取り忘れがあるとブザーが1分おきに3回鳴ります。

調理終了




**ご注意**

- 加熱完了後、部品を冷却するためファンが動作することがあります。ファン動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファン動作中でも続けて加熱可能です。

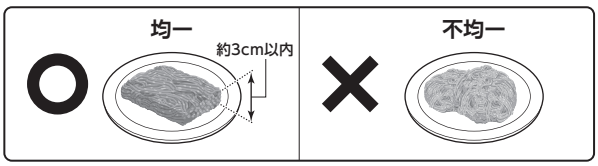



冷却中の表示

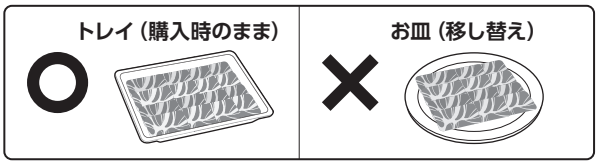
### 解凍するときのポイント

- **分量は以下を目安としてください。**
  - ひき肉、かたまり肉、魚(切り身)：100～500g
  - さしみ：100～300g
  - 薄切り肉：1mm程度の厚みの場合は100～200g
    2mm程度の厚みの場合は100～300g

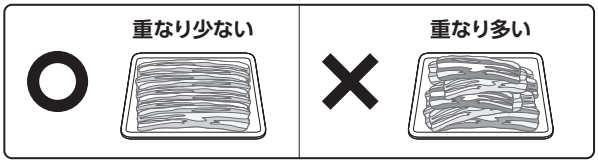
  ※上記は目安です。上記範囲内の分量でも上手に解凍できない場合があります。上手に解凍できない場合は手動あたため「200W」で様子を見ながら加熱してください。
- **こま切れ肉などを解凍する場合は「4-2かたまり肉」メニューで様子を見ながら解凍してください。**
- **ひき肉を解凍する場合は厚みを均一（約3cm以内）にしてください。不均一であったり、小さすぎると上手に解凍できない場合があります。**




- **さしみ解凍で、解凍が足りない場合は切り分け後、数分放置してください。（目安5～10分程度）**
- **薄切り肉は購入時に冷凍されているものを使用ください。余った食材、または冷蔵の薄切り肉を再冷凍した食材を解凍する場合は上手に解凍できない場合があります。手動あたため「200W」で様子を見ながら加熱してください。**
- **薄切り肉は購入時のトレイで解凍してください。お皿など別の容器で加熱すると上手に解凍できない場合があります。**




- **薄切り肉解凍時に、厚みが不均一であったり、重なり部分が多いと上手に解凍できない場合があります。手動あたため「200W」で様子を見ながら加熱してください。**

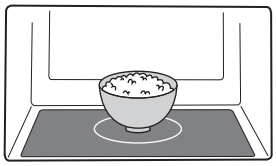



- **食品の形状や種類によっては、部分的に煮えたり、かたい所が残ったりすることがあります。**
- **解凍が足りない場合は手動あたため「200W」で様子を見ながら加熱してください。**

# 手動あたため

## 1 食品を庫内に入れる

- 食品の分量に合う大きさの容器を使用してください。
- 庫内の中央（マーク）に置いてください。

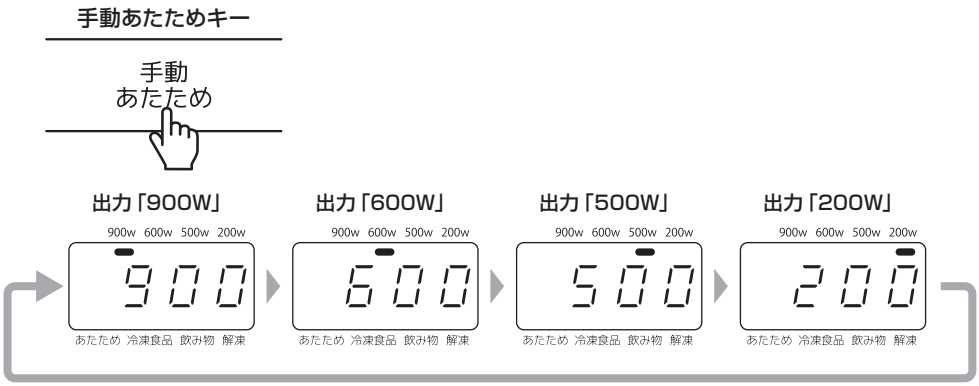


中央に置く

## 2 「手動あたため」キーを押し、出力を設定する

- 表示部に初期の画面（「**0**」表示）の状態で、手動あたためキーを押すたびに下記のように切り替わります。

※ドアを閉めて1分以内に押してください。




## 3 「時間・仕上がり設定」キーを押し、時間を設定する

- 表示部が時間設定表示に切り替わります。
- 「**1分**」キーを押すたびに1分単位で進み、「**10秒**」キーを押すたびに10秒単位で進みます。（分の繰り上げはしません）

（600W・5分20秒に設定した場合）

■時間設定範囲

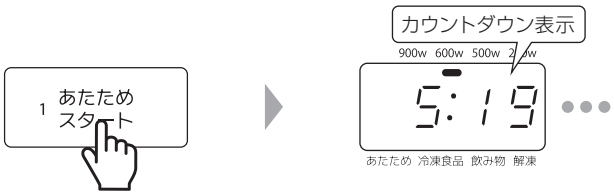
| 出力 | 900W | 600W | 500W | 200W |
|---|---|---|---|---|
| 時間 | 10秒～3分 | 10秒～15分 | | 10秒～60分 |

※ 時間を合わせると出力の変更はできません。変更したいときは、「とりけし」キーを押して、最初から操作しなおしてください。

※ 時間設定をやりなおす場合は、「とりけし」キーを押して最初から操作しなおしてください。

## 4 「あたためスタート」キーを押す

- 加熱が開始されます。
- 表示部に残りの加熱時間がカウントダウン表示されます。



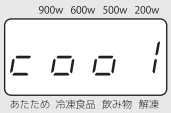

## 5 調理終了

- 調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。
- 庫内に取り忘れがあるとブザーが1分おきに3回鳴ります。

※容器が熱くなってますので取り出しにはご注意ください。

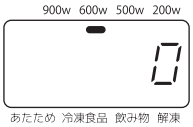
**ご注意**

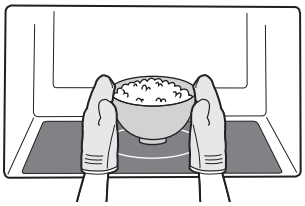
- 加熱完了後、部品を冷却するためファンが動作することがあります。ファン動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファン動作中でも続けて加熱可能です。




冷却中の表示

**調理終了**



ミトンなどを使って取り出す

## 手動調理するときの加熱時間の目安（出力600Wで加熱する場合）

- 加熱時間は、食品の素材、量、大きさ、加熱前の温度などによって異なります。
- 市販の食品や料理本などのレシピはその部分を目安にして、様子を見ながら加熱してください。

| メニュー | | 分　量 | 加熱時間 | ラップ |
|---|---|---|---|---|
| 常温 | 水 | 1 杯（約200 mL） | 約1分40秒 | — |
| | お茶 | 1 杯（約200 mL） | 約1分30秒 | — |
| | お酒 | 1 杯（約160 mL） | 約1分 | — |
| 冷蔵 | みそ汁 | 1 杯（約150 mL） | 約1分50秒 | — |
| | カレー | 1 人分（約180 g） | 約3分 | ○ |
| | シチュー | 1 人分（約300 g） | 約4分 | ○ |
| | ポタージュスープ | 1 人分（約200 mL） | 約2分20秒 | ○ |
| | 焼き魚 | 1 切（約80 g） | 約1分10秒 | ○ |
| | ハンバーグ | 1 個（約80 g） | 約1分20秒 | ○ |
| | コロッケ | 1 個（約80 g） | 約40秒 | — |
| | トンカツ | 1 枚（約100 g） | 約1分30秒 | — |
| | 肉まん | 1 個（約120 g） | 約1分20秒 | ○ |
| | 焼売 | 12 個（約160 g） | 約1分30秒 | ○ |
| | 焼きそば | 1 人分（約200 g） | 約2分20秒 | — |
| | 野菜の煮物 | 1 人分（約200 g） | 約2分20秒 | — |
| | 煮魚 | 1 切（約100 g） | 約1分30秒 | ○ |
| 冷凍 | ごはん | 1 杯（約150 g） | 約2分30秒 | ○ |
| | チャーハン・ピラフ | 1 人分（約250 g） | 約4分10秒 | ○ |
| | カレー | 1 人分（約180 g） | 約5分 | ○ |
| | シチュー | 1 人分（約300 g） | 約7分 | ○ |
| | ハンバーグ | 1 個（約80 g） | 約2分 | ○ |
| | 肉まん | 1 個（約120 g） | 約2分 | ○ |
| | 焼売 | 12 個（約160 g） | 約3分10秒 | ○ |

| 素材名 | 分　量 | 加熱時間 | ラップ |
|---|---|---|---|
| じゃがいも | 1 個（約150 g） | 約3分 | ○ |
| さつまいも | 1 本（約200 g） | 約3分40秒 | ○ |
| さといも | 約100 g | 約2分20秒 | ○ |
| にんじん | 約100 g | 約2分30秒 | ○ |
| だいこん | 約200 g | 約4分 | ○ |
| ほうれん草・菊菜 | 約200 g | 約2分30秒 | ○ |
| キャベツ | 約100 g | 約1分50秒 | ○ |
| 白菜 | 約100 g | 約1分10秒 | ○ |
| かぼちゃ | 約100 g | 約2分 | ○ |
| ブロッコリー | 約100 g | 約1分40秒 | ○ |
| カリフラワー | 約100 g | 約1分40秒 | ○ |
| グリーンアスパラガス | 4本（約80 g） | 約1分20秒 | ○ |

- 野菜をゆでるときは、「**野菜のゆでかたについて**（7ページ）」をご参照ください。

**ご注意**

- 少量の食品を加熱すると、発煙・発火のおそれがあります。様子を見ながら加熱するようにしてください。
- ミックスベジタブルや小さく切った根菜類（さつまいも・にんじんなど）は少量で加熱しないでください。焦げたり、発煙・発火の原因になります。
- 冷凍したカレーやシチューの加熱はこびり付きを防ぐため、途中で混ぜてください。
- カレーやシチューなどのとろみのある食品は飛び散るおそれがあるのでラップをかけてください。（ラップは密閉しない）

# お手入れのしかた

- ご使用後はお早めにお手入れしてください。ただし、本体が冷めてから行ってください。
- 汚れはこまめに拭き取り、いつも清潔にしてご使用ください。庫内やドアが汚れたまま使用すると、汚れがこびりついたりさびや腐食・悪臭のもとになります。また、食品カスや汁・油などがついたまま使用すると、火花や発火・発煙の原因になります。レンジ周辺も清潔にしてください。
- 長時間ご使用にならないときは各部のお手入れをし、湿気やほこりがかからない状態にし電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ⚠警告

禁止

**●お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、レンジ本体や付属品が冷めてから行う**

やけどや感電・ケガのおそれがあります。

ぬれ手禁止

**●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電するおそれがあります。

禁止

**●お手入れに、金属たわし・金属ブラシは使用しない**

傷や割れなど、破損の原因となります。

**●食品カスや水・洗剤などを、レンジ本体のすき間に入れない**

故障の原因となります。

**●お手入れのときは台所用中性洗剤を使い、次のものは使用しない**

住宅用家具用洗剤（弱アルカリ、アルカリ、弱酸性、酸性など）、オーブンクリーナー、ガラスクリーナー、クレンザー、漂白剤、アルコール、ベンジン、シンナー。
変形・変色・故障などのおそれがあります。

### キャビネット・庫内・ドア

**●かたく絞った布で水拭きする**

汚れがひどいときは、うすめた台所用中性洗剤をしみ込ませた布で拭きます。その後、水拭きして洗剤をきれいに拭き取ってください。

### 庫内底面

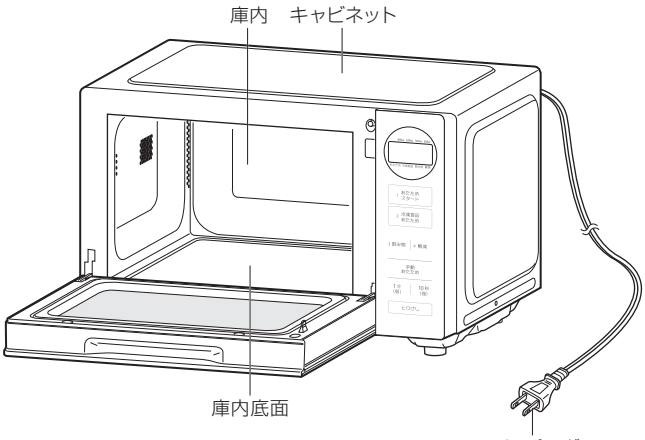
**●かたく絞った布で水拭きする**

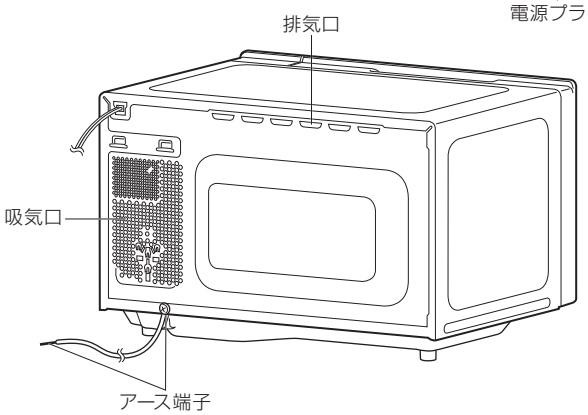
- 庫内底面の汚れは濡れふきんですぐに拭き取ります。汚れや調理物などが付着したまま調理すると、落ちにくくなります。
- 庫内底面周囲の黒色ゴムは強くこすらないでください。
- 衝撃をあたえないでください。傷がついたり、割れることがあります。

### 排気口・吸気口・アース端子・電源プラグ

**●やわらかい布でから拭きする**

また、乾いた布で定期的にほこりを取り除いてください。



# うまく仕上がらないとき

## 自動調理全般

| 症　状 | 原因・対応 |
|---|---|
| **仕上りが強すぎる** | ● あたためる分量が少なすぎませんか。(➡20ページ)<br>➡ 一度に加熱できる分量は100g（目安）以上です。少量の食品(100g未満)を加熱するときは、手動あたためで加熱時間を20～30秒に設定し、様子を見ながら加熱してください。<br>● 庫内の中央マークを参考に、正しい位置において使用してください。位置がずれると上手に加熱されない場合があります。<br>● 赤外線センサーでの検知を正しく行うため、容器はできるだけ背が低く、口の広いものを使用してください。<br>● 食材によっては「自動あたため」で上手に加熱できない場合があります。手動あたためで様子を見ながら加熱してください。（同梱の「**電子レンジを正しくお使いいただくためのお願い**」をご参照ください） |
| **あたためても熱くならない** | ● 食品が、アルミホイルでおおわれていると加熱できません。<br>● ふたは使用しないでください。 |
| **うまく仕上がらない** | ● 加熱開始後の強弱設定で調節してください。 |

## 自動あたため

| 症　状 | 原因・対応 |
|---|---|
| **加熱ムラがある** | ● 食品の厚みが不均一だと加熱ムラになります。<br>● かぼちゃ・じゃがいもなどは大きさをそろえてください。<br>● ほうれん草などは茎と葉を交互に重ねてください。 |
| **ごはんがパサつく** | ● 加熱前に霧を吹いたり、水を少量かけるとしっとりと仕上がります。 |
| **汁物をあたためると熱い部分とぬるい部分がある** | ● 加熱後によくかき混ぜてください。 |
| **焼き魚やフライが上手にあたたまらない** | ● 重ならないように平らに並べてください。<br>● 手動あたためで様子を見ながらあたためてください。 |
| **煮汁が飛び散る** | ● 汁気を切り、深めの容器に入れてあたためてください。 |
| **フライや天ぷらがベタつく** | ● ペーパータオルを敷いた皿の上に並べてください。 |
| **冷凍ごはんがあたたまらない** | ● 手動あたためで様子を見ながらあたためてください。 |
| **野菜が乾燥気味になる** | ● 野菜を洗い、水気を切らずにラップに包んでください。 |

## 飲み物あたため

| 症　状 | 原因・対応 |
|---|---|
| **熱くなりすぎる** | ● 容器に少ししか入れないと沸騰する場合があります。容器の7～8分目まで入れてください。<br>● 上手に温まらない場合は、手動あたためで様子を見ながら加熱してください。 |
| **容器の上の方と下の方で温度が異なる** | ● 加熱前と加熱後によくかき混ぜてください。 |
| **上手にあたたまらない** | ● 3カップ以上同時に温めていませんか。一度に温められるカップ数は2カップまでです。但し、カップの大きさにより異なりますので上手に温まらない場合は、1カップずつ様子を見ながらあたためてください。 |
| **牛乳やコーヒーが熱くなりすぎる** | ●「飲み物あたため」で加熱していますか？<br>●「飲み物あたため」で上手に温まらない場合は手動あたためで様子を見ながら加熱してください。<br>●「自動あたため」で加熱すると熱くなりすぎることがあります。 |

## 自動解凍

| 症　状 | 原因・対応 |
|---|---|
| **上手に解凍できない** | ● 食品の厚みや形が不均一だと、部分的に加熱されやすくなります。<br>● 解凍するときは、同じ種類・大きさをそろえてください。<br>● 手動あたため200Wで様子を見ながら解凍してください。<br>● ラップなどの包装を取り外してください。<br>● 薄切り肉解凍時は別の容器（お皿など）に移し替えずに購入時のトレイで解凍してください。 |

## 冷凍食品あたため

| 症　状 | 原因・対応 |
|---|---|
| **冷凍食品が上手にあたたまらない** | ● 上手にあたたまらない場合は、パッケージの記載に従って手動あたためで様子を見ながらあたためてください。<br>● 冷凍食品の種類によっては「冷凍食品あたため」で上手に加熱できない場合があります。手動あたためで様子を見ながら加熱してください。（同梱の「**電子レンジを正しくお使いいただくためのお願い**」をご参照ください） |

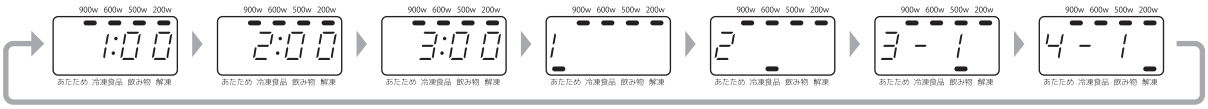
# 故障かな？と思ったとき

● ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

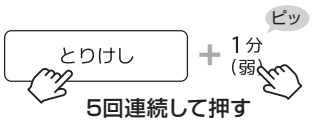
| 症　状 | 原因・対応 |
|---|---|
| 電源プラグをコンセントに差し込んでも、何も表示しない | ●電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入らないようになっています。<br>➡ ドアを開けることで電源が入ります。 |
| 調理後、ファンが回る | ●レンジ調理終了後、庫内の換気や部品の冷却のためにファンが回ることがありますが、故障ではありません。<br>➡ しばらくすると自動的に止まります。 |
| まったく動かない | ●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。<br>●電源プラグが抜けていませんか。<br>➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。<br>※電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。<br>ドアを開閉してください。(待機時消費電力オフ機能について➡7ページ)<br>それでも動かない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 |
| キーを押しても何も反応がない | ●表示部に「0」を表示していますか。<br>➡ 電源オフ機能がはたらいている場合はドアを開閉し、「0」表示がでてから操作してください。<br>●表示部に「[ ]」が表示されていませんか。<br>➡ チャイルドロック機能がはたらいている場合はチャイルドロックを解除してください。(➡9ページ) |
| 食品があたたまらない | ●食品がアルミホイルでおおわれていませんか。 |
| ブザーが鳴らない | ●消音モードになっていませんか。<br>➡ 消音モードのときはブザーが鳴りません。消音モードを解除してください。(➡9ページ) |
| 運転中、「ガタガタ」、「カチカチ」または「ポコン」という音がする | ●モーターが回転する際の動作音です。<br>➡ 異常ではありません。<br>●出力を切り替えるスイッチの動作音です。<br>➡ 異常ではありません。<br>●熱により庫内壁面が膨張し、音が鳴ることがあります。<br>➡ 異常ではありません。 |
| 調理中に蒸気がでた | ●調理中に排気口やドア周囲から多少蒸気が出ることがありますが、故障ではありません。 |
| 火花・異常音が出る | ●金属製の容器や、金銀模様のある容器、金串などを使用していませんか。(➡10 ページ)<br>●庫内壁面にアルミホイルがふれていませんか。<br>●庫内が汚れていませんか。<br>➡ お手入れを行ってください。(➡21ページ) |
| 煙や嫌な臭いがする | ●庫内が汚れていませんか。<br>➡ お手入れを行ってください。(➡21ページ) |
| 何もしていないのにカチッと音がする | ●電源が切れる音です。<br>➡ 異常ではありません。 |
| 庫内に水滴が付着する | ●食品からでた水蒸気が水滴として付着するこがあります。<br>➡ かたく絞った布で拭き取ってください。 |
| 表示部に「C2 1」と表示される | ●庫内温度が高くなっています。<br>➡ ドアを開けて冷ましてからご使用ください。<br>●庫内の食品温度が高いときに表示されます。<br>➡ 手動あたためにてご使用ください。 |

# 故障かな？と思ったとき(つづき)

● 下のように表示が自動で切り替わる場合はデモモードとなっています。




➡「**とりけし**」キーと「**1分**」キーを同時に5回連続で押してデモモードを解除してください。キーを押すたびに”ピッ”と操作音が鳴ります。




● 次のような表示が出たら、故障です。修理をご依頼ください。

➡電源プラグを抜き、表示内容をお買い上げの販売店、またはお客さまご相談窓口(26ページ)へご連絡ください。
「E」のあとの□□には、2けたの数字が入ります。

# 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 品番 | | AQM-KF20B |
| 電源 | | AC 100 V　50/60 Hz |
| 消費電力 | | 1350 W |
| 高周波出力 | | 900 W*1、600 W、500 W、200 W 相当 |
| 発振周波数 | | 2450 MHz |
| 質量 | | 約 10.6 kg |
| 寸法 | 外形 | 幅 472 × 奥行 354 × 高さ 300 mm |
| | 庫内有効 | 幅 300 × 奥行 310 × 高さ 195 mm |
| | 庫内容量 | 20 L |
| | コード長さ | 約 1.5 m |
| 区分名 | | A |
| 電子レンジ機能の年間消費電力量 | | 59.4 kWh/年 |
| 年間待機時消費電力量 | | 0 kWh/年 |
| 年間消費電力量 | | 59.4 kWh/年 |

※高周波出力900Wは短時間高出力機能（最大3分間）であり、定格連続高周波出力は600Wです。600Wへは自動で切り替わります。
※年間消費電力量(kWh/年)は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定法による数値です。区分名も同法に基づいています。
※実際にお使いになるときの年間消費電力量は周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量によって変化します。
※この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
※This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No product service is available outside of Japan.

# 保証とアフターサービス

## 保証書（取扱説明書裏面）

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で発行しますので、保証書の「販売店・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
**保証期間はお買い上げ日より1年間です。**
**ただし、マグネトロンのみ2年間です。**
**一般家庭用以外に使用される場合は除きます。**

## 補修用性能部品の保有期間

電子レンジの補修用性能部品の保有期間は、
**製造打ち切り後8年です。**

・補修用性能部品 … その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理サービス

使用中に不具合を感じたときは、23ページの「故障かな？と思ったとき」に従って調べてください。直らないときは、内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は、保証書の記載内容により販売店が修理いたします。
●保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。
●保証期間がすぎているときは、修理により機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理となります。

## 修理を依頼されるときは

保証期間をすぎてもご要望により有料で修理させていただきます。
修理料金は、以下の内容で構成されています。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 診断、修理、調整、点検などの費用です。 |
| 部品代 | 修理により使用した部品および補助材料代です。 |
| 出張費 | ご依頼により技術者を派遣する費用です。 |

まずはお買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談できない場合は、26ページの相談窓口にお問い合わせください。

# お客さまご相談窓口

## お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

**家電商品についての全般的なご相談**　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：（365日）9：00～18：30

| 総合相談窓口 | 固定電話からは | 0120−880−292 |
|---|---|---|
| | 携帯電話からは | 0570−040−292（有料） |

FAXでご相談される場合　0570−013−790（有料）

**家電商品の修理サービスについてのご相談**　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：月曜日～金曜日　9：00～18：30
土曜・日曜・祝日　9：00～17：30

| 修理相談窓口 | 固定電話からは | 0120−778−292 |
|---|---|---|
| | 携帯電話からは | 0570−030−292（有料） |

### お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

**＜利用目的＞**

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。
  なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

**＜業務委託の場合＞**

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。
  個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ https://aqua-has.com/privacy/ をご覧ください。

## 長年ご使用の電子レンジの点検を！

**こんな症状はありませんか**

- ●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ●スタートしても食品が加熱されない。
- ●異常なにおいがしたり、煙がでる。
- ●電子レンジに触ると電気を感じる。
- ●ドアや庫内に著しい変形がある。
- ●自動的に切れないときがある。

**ご使用中止**

このような症状のときは、故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店へ点検・修理をご相談ください。

MEMO

アクア 株式会社
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

KF20B-MN01